豊平の福祉に愛の手が伸びる
豊平地区マークと福祉標語

とよひら

題字 関 正明

豊平地区町内会連合会
広報紙第23号
発行責任者 関 正明
札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12
電話（011）811－9435番

災害を知ろう 町内会連合会研修会開催

東日本大震災を教訓に！

平成23年10月27日、町内会連合会では、ベルクラシック札幌フローラに於いて合同研修会を開催致しました。

先の東日本大震災の災害による市民の意識の高まりを受けて『災害イメージトレーニングとDIG』と題して災害図上訓練を行いました。

例年参加者は町連理事、各町内会総務部長、女性部長でありましたが、今回は防火防犯部長さんも加わり、70名となりました。

会場は角テーブルに周りを椅子で囲み10組が近隣町内会の役員で構成して、共有する問題点を話し合う設定と致しました。

最初に第一地域包括支援センターの2名の担当者によるスクリーンでの災害時のストレスと注意点の講話がありました。

次に防火防犯部の進行により、今回の災害イメージ概略の説明があり主要な題に移った。想定された時間の設定により〝目を閉じてください〟地震があり大きく揺れています、皆さんは何をしますか、目を開けて配られた紙に記入下さい。

しばらく間があり、答えは火の元、危険物の適切な処置です、とあった。

更に〝目を閉じてください〟この場を離れます。何を持って出ますか記入ください。答えは非常持ち出しの品です、との事。当日は話題になりませんが、後述致します避難所での体験記が出てきます。参考にされたら良いと思います。

この時の足元は革靴が最適との助言もあった。

消防・警察署員の足元を思い起こした方もあった様です。各組での答え合わせと共通の話し合いの時間の経過の後、10組の中からある組が発表する事となりました。代表した彼は地域で想定される倒壊建物と避難経路の不安を述べた。

だが協力して困難に当たろうという言葉があった。最後は豊平消防署と豊平区役所の方の講評があり終了となりました。

万一の災害の発生では対策本部の立ち上げ、安否の確認、専門チームの医療、救助、衛生、通信等の開設が急がれる事となる。

大きな災害は範囲が広く消防、警察等の到着が遅くなり、自分達の過剰反応を慎み、沈着冷静にと忍耐を強いられる様子が目に浮かぶ、自分の身は自分で守る、の基本が欠かせないでしょう。参考となる事例を紹介致します。

北区のある町内会連合会は防災会が結成され毎年災害対策実施訓練を続けている。厳寒の時期、災害発生のもと、拠点である避難所でもある会館に集合し、火、ガス、電気、水道のライフラインが断たれ、停止、室内の気温も氷点下近くに達する。

照明、暖房もなく暗く寒く肩を寄せあって、持参した寝具、毛布に包まり、アルファ米や乾パン等を使用した炊き出しを行い災害発生時に予想される最悪の状況下での宿泊を体験するなど今回で6回目の開催との事です。

これまでのプロセスには幾多の困難があったと推測される。他の地区での例を紹介致しましたが、私達の地区は始まったばかりであるが明るさも見える。

今回の各組には分区代表の防火防犯部長もいて、熱心さと頼もしさがあって、今後の啓発活動にも大きな可能性を感じました。

古い話になり恐縮ですが関東大震災の折、失われた人命が以外と少なかったのには理由があった。

日清、日露の戦争があり戦火をくぐり抜けた元軍人が沢山いて非常時の危険の身の処し方に卓越したリーダーシップを発揮したと聞いております。

昭和20年の終戦から60年以上もたち、歴戦の勇士も高齢となっていますが、古い私達の町には、少数となったが健在で望みもある。

又他人同志であるが親、兄弟、子供等の世代間のつながりも深く親密さを一層感じており、人情味豊かな町と言われております。

万一の時には友情が連帯感と変わりお互いの心の支えとなり得ると思います。

今回の研修会開催において、お世話になった方々、又包括支援センター、行政の方々に助力を頂き、真剣に取り組んで頂きました事を深く感謝致しております。

H・M

豊平小学校

開校百三十周年 記念祝賀会を盛大に開催

豊平小学校校長 矢口 宇希雄

130年の歴史と伝統ある豊平小学校。地域の皆様の強い思いが感じられる学校です。

卒業生は、平成23年3月末で19,000人を超えており、各地、各方面で活躍しております。

開校130年記念事業として、平成22年度に教育実践発表会、23年度に開校記念式典・祝う会・祝賀会・郷土誌「とよひら」の発行、資料室の整備など記念事業協賛会のご支援をいただき実施することができました。

教育実践発表会では、学習や日常生活で、心を育てることが大事だということを改めて、確かめることが出来ました。

そして、心を育てるためにも、人として身に付けなければならない礼儀や善悪判断などの力を育てようと取り組んでおります。

実践発表会の授業づくりでは、歴史の取材等にご協力をいただき、地域を学ぶための教材をつくることができました。

本校の特色としての地域学習を継続して進めることができるようになりました。

祝う会・祝賀会には、多くの保護者・地域・同窓の皆様のご出席をいただき盛大に実施することができました。

また、郷土誌の作成にあたり、豊平地区の商店街や古くから住まれている皆様のお話を聞かせていただきました。

おかげさまで、充実した内容で学習にも使える郷土誌ができあがり、関係の皆様に心から感謝しております。

歴史と伝統ある豊平小学校の職員一同、子どもを健やかに育てたいという地域の強い願いに応えるべく、努力しなければという思いを一層強くしております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

旭水クラブの紹介

旭水クラブは、昭和47年12月に豊平ときわ倶楽部から分離が認められて創立し、今年12月に40周年を迎えます。

この40年の歴史には、当クラブ諸先輩の努力は勿論ですが、豊平地区町内会連合会、旭水町内会、豊平地区老人クラブ連絡協議会、そして多くの方々のご指導・ご支援が蓄積されています。心からお礼を申し上げます。

さて、紹介に入りますが、どこの老人クラブもそうだと思いますが、当クラブも「健康・友愛・奉仕」の三つの運動を中心に日々の活動を進めています。

年間の行事として、「例会は毎月2回」「新年会」「創立記念・花見会」「敬老会」「忘年会」「旅行会」「定期総会」などがあります。

例会では、全員で「市民憲章」と「交通安全の誓い」の朗読、「老人クラブの歌」と唱歌の合唱をしています。

また、月初めの例会では当月生れの方に誕生祝の歌を唄ってお祝いをしていますし、2回目の例会では血圧測定と健康相談を宮の森病院のご協力をいただいて実施しています。

この外には、パークゴルフ、ゲートボール、カラオケ、麻雀なども行っています。

奉仕活動として、①旭小学校3年生による「大先輩にインタビュー」、雑巾とリングブルや新1年生へお祝い品を贈るなどの交流をしています。②旭水町内会と連携して町内の清掃、4カ所の公園清掃、花ランドに参加しています。③赤い羽根街頭募金、交通安全推進運動啓発、④資源回収等などを行っています。

現在会員は88名（賛助会員含む）ですが、会員を増やす取り組みをしています。旭水地区のみなさまには、例会に来ていただいて体験していただければと願っております。

例会は、毎月2回（第2・第4月曜日、午前10時から、旭水会館2階にて）開催しています。

連絡先　821―8987
竹田　澄夫

第2回 明日も元気でいきいき 健康フェアとよひら開催

去る平成二十三年十月二日（日）に、豊平会館で、豊平地区においては昨年に続き第二回目となる『健康フェアとよひら』が開催されました。悪天候に寒さも重なりましたが、約百五十人という多くの方に来場いただき、健康に対する地域の皆様の関心の高さが感じられました。

昨年好評だった「脳年齢測定」などの測定、お薬と歯科の相談、体を動かす健康づくり体験、健康に良い食事の試食、日赤、すこやかくらぶなどの各コーナーに加えて、新たに「肺年齢測定」と「血管年齢測定」を行いました。

肺年齢は見た目では判らない「肺の健康を知るヒント」です。呼吸機能は、健康な方でも二十歳代をピークにして加齢とともに低下していきますが、喫煙や呼吸器の病気などによりその低下が健常な方よりも早くなります。同性・同年代の方と比較して自分の呼吸機能（肺の健康状態）がどの程度にあるのかを知る指標として肺年齢が使われています。

会場では、担当の先生の指導に従い、息を大きく吸った後、静かに吐き出す方法で測定が行われました。

来場者は「自分の血圧や血糖値の数値はわかっていても、肺など呼吸器の状態を知る機会はなかなかないので測定出来て良かった。良い結果が出たのでほっとした。」と感想を話してくださいました。

また、血管年齢測定は、測定器に人差し指を挿し込み数秒間安静にすると、血液の流れから年齢が表示されるものです。

来場者の中には、「脳年齢測定」結果より更に若く測定された方もいて、ご本人は大変喜び、担当の先生も驚いた様子でした。

札幌ライラック病院の柳川利正副院長先生の「超高齢化社会と健康～医療の進歩の光と影」と題しての講演では、札幌ライラック病院の気管切開の技術が全国的に認められてきた、とのお話から始まりました。救急医療も進み、長寿国と言われる日本ですが、生活習慣病の増加は我が国の将来にも影響するので、長寿のためにもっと青魚を食べ、塩分を控えるべき、とのお話もいただきました。生活習慣病の特効薬はないとのことです。日々の食事や運動に注意を払うことの重要性をあらためて感じた講演でした。

秋季 豊平地区老連パークゴルフ大会

豊平地区老人クラブ連絡協議会では、平成23年10月13日、健康維持と親睦交流のため、「秋のパークゴルフ大会」を南9条橋パークゴルフ場で開催いたしました。

当初は9月28日を予定していましたが、9月上旬の台風による豊平川の増水で河川敷パークゴルフ場が使用不能となり延期したものです。

そのために予定していました出場者数が減少するということになりましたが、40人の会員が前日とは打って変った晴天の下、和気あいあいの中にも、入賞をめざしての熱気あるプレーとなりました。

競技は男女別4人一組で、18ホールのストロークで実施し、男女各9人が入賞、全員に参加賞が贈られ、楽しい大会でした。

成績　男子の部
一位　下濱　明幸
二位　栗山　哲夫
三位　佐藤　俊夫
ベスグロ　獅子井　健二

女子の部
一位　宮川　芳子
二位　野村　テル
三位　菅井　末子
ベスグロ　獅子井　ちづる

防火・防災パトロール

豊平消防団 豊平分団 分団長　細井　正勝

春・夏・歳末と消防団では「防火・防災パトロール」を実施しています。

豊平消防団員総勢三十数名一日2・3人が当番としてパトロールをすることになり、車にスピーカーを積み地域全体に「火の用心」を呼びかけて巡回広報を実施しています。

「火を消すことよりも、火事を出さないこと」がパトロールの目的で、たばこ、コンロ、火遊び、ストーブ等の火災はほんの少し注意さえしていれば防げるものが多く、住民の皆さんの防火意識の再認識を呼びかけています。

ただ残念な事に火災の一番の原因は放火によるものとの統計が出ていて、パトロールで放火を防ぐのは中々難しい点はありますが、燃えやすいものを出さないようにする広報などは一定の効果も期待できます。

札幌市消防局

パトロールの巡回広報の内容は

・タバコの火の不始末、寝タバコはやめましょう。
・慌てず落ち着いて119番しましょう。
・コンロ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
・お年寄りやお子さんは安全な避難しやすいところに寝かせましょう。
・万が一に備え避難路を確保しておきましょう。
・体の不自由な方や小さなお子さんを残したまま外出しないようにしましょう。

などで「皆さん一人一人のほんの少しの注意」が多くの火災の発生を未然に防ぐことになります。

この「ほんの少し」を怠ったばかりに取り返しのつかない大きな犠牲を払う事になってしまう場合も少なくありません。

「後悔先に立たず」のようなことにならないためにも一人一人の「火の用心」が大切です。

「自らの町は自らの手で守る」の精神をモットーに消防団も活動していますが、地域の皆さんのご理解とご協力があってこそ成り立つことですので今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

旭水会館憩いの家
演芸大会開催される

旭水会館に憩の家が設置されてから早十三年目を迎えます。「憩の家」はご存じのように六十歳以上の方々を対象に趣味の集まりやレクリエーションの場として会館などを提供する札幌市の事業の一環であり、運営は地域住民で組織した運営委員会が行っています。

旭水会館憩の家運営委員会では週三回一階和室を提供している他に年間行事の一つとして毎年十一月に「憩の家演芸の集い」を開催し今回で第十二回を迎えることが出来ました。

出演者依頼は例年運営委員の方々が個々にお願いをしていましたが、今回は広く地域の方々からとの思いから町内会回覧にての募集も行い結果十演目が集まりました。

開催日は平成二十三年十一月十三日（日）午後一時より旭水会館二階ホールで開かれ当日のプログラムは二部構成で組まれ参加者は約八十名でした。

柴田運営委員長の挨拶に続いて柳谷辰也さんの名司会で演芸会が始まり一部トップバッターは家族バンドでご両親と三歳、六歳の女の子の四人編成で父親のギターと母親のタンバリンで「カントリーロード」や昭和歌謡ヒットメドレーなどを歌い観客席から盛んな拍手を浴びたのを皮切りに日本舞踊、日本民謡、フラダンス、腹話術、琴、カラオケと多彩な芸が披露され途中休息を入れて午後四時に盛会裡に終了することができました。

豊平区ネットワーク会議
地域の防災力強化を目指して

二月二十二日、午前十時より豊平区民センター二階ホールで三日市区長、佐藤豊平警察署長をはじめ、区内の様々な団体が参加し、第四回豊平区ネットワーク会議が開催されました。

「ネットワーク会議」とは平成二十年三月に組織され、地域住民と行政等関係機関との連携により、安全で安心な住みよい街づくりを進める事を目的として組織された会議です。

会議に組織される団体は各地区町内会連合会をはじめ、防火防犯・交通・地域安全・青少年育成・小中学校長会・まちづくり協議会等26団体と警察・消防・テレビ・ラジオの四つの関係機関により組織され、事務局は豊平区市民部に設置されております。

今回のテーマは第一部に札幌市の防災対策についての説明と第二部には神戸学院大学教授の金芳外城雄氏を迎え「災害に備えての準備や発生時の対処」というテーマで阪神大震災と、東日本大震災の比較を交えながら、命を守る指針、減災力、平常時からの備蓄対応、生活防災の知恵、地域力共生力等、防災福祉コミュニティのありかたについて、スライドを交えながら時々笑いが起こる中でも、聴講している各団体機関の責任者は真剣にメモを取るなどして聞き入っておりました。

豊平地区町連からは関会長、佐藤女性部長、石川防犯暴追副部長と前まちづくりセンター所長が参加し、今後のまちづくりの為の防災協働地域社会に向けて各町内会との学習や啓蒙に取り組み、情報を共有しながら地域との学習会などを開催し、地域一体となった防災力を強化したいと考えております。

N・I

女性部

平成二十三年十月六日（木）秋のレクリエーションを三年振りに行いました。

毎年女性部が行っているフリーマーケットの売上金が積み立てられ、近くでのレクリエーションであれば実行出来る程になりましたので開催する事に致しました。

自分達でバスを借りたり、好きな場所に行ける程の予算が無かったので無料バスで温泉と昼食、どこか一ヶ所位は立寄ってもらえる様な良いところはないかとパンフレットを取り寄せたり電話をあちらこちらと掛けましたが、本当に私達の条件では一つも有りませんでした。

その様ななかで豊平峡ダムの紅葉を見せてあげますとの話で定山渓グランドホテルに行く事となりました。

当日のダムはおだやかで暖かくダムの周りを思い思いにゆっくり散策することが出来ました。今年は一週間程紅葉は遅いということで思い描いた素晴らしい紅葉は見る事ができませんでした。

午後からはホテルに移動して昼食をとり、温泉に入って楽しい一時を過ごし、又裏口からの出発ということで私達はお客さんなのにと何とも不思議な、奇妙で、おもしろい経験のレクリエーションでした。

I・S

豊平第十五分区町内会の紹介

会長　森　一男

当町内会の創立は昭和三十七年です。平成十五年には創立四十周年を記念してルネッサンスホテルに於いて、各町内会の会長もお招きして盛大に祝賀会を開催し、又、温故知新と題して百三十ページに及ぶ記念誌も発行致しております。

当町内会活動につきましては他の町内会と余り変わらないと思いますが、主なものをあげると、役員会は四月の初めに総会に向けて、七月には秋の日帰り親睦旅行について、一月には役員新年会を兼ねてホテルで行い、出席者は毎回二十名程です。総会は第一ホテルで出席者は四十名程です。親睦旅行は四十名程ですが今年は余市積丹方面に行って来ました。又、パークゴルフも年三回行って居ります。年に三回豊陵公園の清掃を行いますが、日頃町内の行事には参加する事が少ない、マンション住いの方々も参加をして戴き、少ない時でも五十名程、多い時は六十名以上になります。公園に来られたらまず、お名前と班を書いて戴き、帰りには全員にお握り・飲み物の健全な活動を応援しようと、僅かな額ですが、よさこいチームの、舞とよひらに練習の時の飲み物代と、小学校に上がる新一年生に図書券をあげる予算も組みました。

役員や行事に参加される方の高齢化が進む中、若い人にも町内会に関心を持って戴き、地域の為に役立つ様な活動をして参りたいものと思っております。

周年の記念事業として、豊陵公園に八重桜の木を十本植樹致しました。公園には以前から桜の木は五本か六本程植えられておりましたが、今後二十年三十年経過して満開の時期には地域の皆様に花見を楽しんで貰えるものと思います。

札幌市豊平区保護司会
豊平分区の活動について

分区長　三橋　文憲

豊平区保護司会豊平分区は現在定員八名のところ、六名が在任しており、犯罪に陥った人たちの更生保護、明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防等の活動をしています。

具体的には、対象者の出所後の保護観察（遵守事項の厳守、指導、助言等）、環境調整（対象者の引受人の情況把握等）が主な仕事です。

現在の社会情勢は厳しく、出所後の環境には、まだまだ社会復帰を困難にしているものがあります。

今日の経済情勢の中で、就労活動しても、周囲の不信の目があり、仕事が中々見つからず、再犯を繰り返す者もいます。保護司の活動は、大変困難な事がありますが、対象者の社会復帰の為に、研修会や犯罪予防活動（社会を明るくする運動）等を通して日々研鑽を積んでいるところです。

毎年七月には「社会を明るくする運動」を行っていますが、社会復帰を目指している人の本人の努力と周囲の人達の支援により「やり直せる社会」、「甦りができる地域」となるよう多くの方々のご理解とご協力をお願いします。

市民懇談会（除雪）

豊平第十四分区町内会

当町内会では豊平区土木部の要請により、標記の懇談会を平成23年11月7日（月）18時より豊平橋南集会所で開催いたしました。

出席者は町内会班長以上の13名、土木部及び民間コンサルタント数名です。

最初に土木部より次の事項の説明がありました。

一　人口192万人を抱える札幌市は、年間平均6mの雪が降り、大都市では世界に類を見ない豪雪地で、費用は年間144億円にもなる。（平成22年度当初予算）

二　豊平区は各種除雪機で幹線道路や小学校への通学路を計画的に排雪している。

三　市の除雪費と雪推積場は限界である。以上…

次に二班に分けて討議をした後、各班の代表により要望等の集約を発表しました。

要望と回答（含後日回答）は次の通りです。

問一　道有地・樺太連盟所有の空地（旧道住跡地）に排雪させてほしい。

答　侵入防止柵の撤去は安全管理上許可できない。但し札幌市のロータリー車による投雪は良とする。

問二　マンホール部の段差（穴）が出来て危険だ。

答　雪が解けない断熱マンホール蓋に交換し、段差を解消すべく、下水道局に依頼する。

問三　交差点角に雪山が出来見通し悪く危険である。

答　幹線の排雪時に処理し見通しの確保に努める。

問四　九条大橋のアンダーパスの歩道が除雪されず車道歩行となり危険である。

答　歩道が狭く除雪ロータリー車の作業が出来ない。何とか出来ないか研究する。

以上市の除雪体制を知り、又、町内の要望も出来る限り聞いて頂き開催したことの意義があったと思います。

S・T

豊平区地区対抗大会で男女アベック優勝を飾る！

●豊平児童会館ドッジボールクラブ●

豊平児童会館のドッジボールクラブ「ファイヤードラゴンズ豊平」は、結成して十年以上が過ぎました。昔ドッジボールクラブ員だった子どもたちが、中学生・高校生となって、児童会館に立ち寄った際には、当時の懐かしい思い出話になり、子どもたちにとっても思い入れが深いようです。

現在クラブ員は二～六年生の二十六名で、練習は月に六回程度、大会が近くなると毎日練習しています。土曜日練習の際には、保護者の方もキャッチボールの相手をしてくれるなど、一緒に汗を流し子どもの成長を見守ってくれています。また子ども同士でもキャッチの構えやルールを教え合っています。少し前まで上級生に教わってばかりだった子が、下級生に教えている姿を見ると、子どもの成長を強く感じます。このチームの課題は、元気の足りないところです。子どもらしいはつらつとしたプレイを目指したいと思います。毎年参加させていただいている豊平区地区対抗大会は、このドッジボールクラブにとって大きな目標となっています。過去には何度も優勝を重ねていた大会ではありますが、昨年度は思うような成績を残すことができませんでした。そういったこともあり今年度にかける子どもたちの意気込みは例年以上に強く感じました。結果、男子の部・混合の部の両方で優勝を果たすことができ、子どもたちにとってとても自信のつく大会となりました。また、普段は関わることのない豊平区内の小学生とドッジボールというスポーツを通じて交流できたことは良い経験となりました。

二月と三月に行われた二十三年度最後の大会で、六年生は引退となりました。結果に関わらず悔いの残らないようにしてほしいと思いましたが、練習の成果を発揮して大会を終えてくれました。

「消火栓の除雪作業」

豊平消防団　豊平分団
分団長　細井　正勝

毎年1・2月の大雪に見舞われる時期、消防団では雪に埋もれた消火栓の除雪作業をしています。

豊平地区には約180基の消火栓があり、道路脇や歩道上の標識が目印となり設置され、火災等の災害時に早急に必要とする水源となります。

180基の消火栓の内90基が近くの住民の方が除雪をして頂いており、大変感謝しております。

火事が発生した場合消防車が駆けつけますが、一般的な普通の消防車で1、500リットルの水を積載し約3分ほどで全量を放水してしまいます。

ボヤ程度の火災ならこれで間に合うかもしれませんが、長く続く火災になると水の補給が絶対必要となり消火栓がその役割を担います、

いつどこで発生するか分からない火災に備え、雪の中に隠れてしまっている事のないよう全ての消火栓を直ぐに使用可能な状態にしておかなければなりません。

消火栓はもちろん消火器や非常食や警報機なども使われずに済んでいることが幸いであり、使われなかったら無駄で不必要ということにはなりません。

万が一、十万が一、百万が一に備え私たちは常日頃より災害を想定して準備を整えておくことが大切です。

「自らの町は自らの手で守る」の精神をモットーに消防団も活動していますが、住民の皆さんも大雪の降ったあとに埋もれた消火栓が近くにあるようでしたら頭だけでも出しておいていただければ幸いに思います。

「災害は忘れたころにやってくる」この言葉を改めて胸に刻みこれからも地域の皆様と共に安心安全な街を目指して活動していく所存でございます。

☆お知らせ☆

【豊平地区町内会連合会からのお知らせ】

◎祝　次の方々が表彰を受けられました。

・札幌市青少年育成大会
青少年育成者表彰
木村黎子さん（豊平六の六）

・札幌豊平区防火委員会
防火活動上功労のあった個人の表彰
松浦正治さん（水車町二）

◎今後の主な豊平地区の行事～今年九月まで

○春の交通安全運動街頭啓発
四月十日（火）

○豊平川神社春季例大祭
四月十五日（日）

○とよひら花LAND植花
五月から六月まで

○とよひら福祉のまち推進センター・お元気グッズ配布
五月下旬・九月下旬

○春の親子レクリエーション・ハイキング
六月上旬

○北海道神宮例大祭神輿渡御
山車巡行
六月十六日（土）

○鉄一が里　とよひら塾　第一講　歴史講演会
六月中旬

○豊平神社例大祭
七月十五日（日）

○夏の交通安全運動街頭啓発
七月十九日（木）

○子ども盆踊り大会
八月上旬

○志村鉄一慰霊祭
八月十六日（木）

○とよひらふれあいまつり
八月下旬

○とよひらおもしろひろば
九月上旬

○豊平川神社秋季例大祭
九月十五日（土）・十六日（日）

○秋の交通安全運動街頭啓発
九月二十一日（金）

○交通安全祈願祭
九月下旬

【地下鉄学園前駅の掲示板】

駅構内にある、豊平地区の「まちづくり掲示板」は毎月、掲示板の貼り替えをしますので、ぜひご覧ください。

【札幌市スポーツ推進委員のご紹介】

昭和三十二年より、市や区、地域のスポーツイベントの企画・運営・指導役を担う方を地域から選任し「札幌市体育指導委員」に就任していただいています。豊平地区からも3名の方々に委員をお務めいただいています。昨年の法改正により、この委員の名称が「札幌市スポーツ推進委員」に改められ、スポーツを通じた交流の中心的存在として、今後もより一層の活躍が期待されます。

●編集委員　中川昭一　松野博志　佐藤郁子　柴田崇行　宮越方利　細井正勝　石川紀男　下濱明幸